

## 平成29年度 新潟市美術館事業報告

## I 展覧会事業

## 1. コレクション展

(延人数)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
4月7日 ～7月23日	新潟市政令指定都市 移行10周年記念 コレクション展Ⅰ 「明日の新潟」	新旧コレクションの中から県内出身作家の作品を中心に構成。新潟の美術の礎を築いた先人たちによる新潟の原風景と、国内外で活躍する若手作家の作品を対比させることで、当地の美術のこれからの思いを馳せる内容とした。	16,118	91	177
8月5日 ～12月3日	コレクション展Ⅱ 「異界への旅」	同時開催の企画展・石川直樹展に関連して、今あるこの世界とは別の空間・次元をイメージさせる「異界」を特集展示した。	6,852	82	83
12月8日 ～4月8日	コレクション展Ⅲ 『美術のドラマツルギー 「名場面」のつくりかた』	同時開催の企画展・野口久光展に関連し、カメラワークから発想して、構図法を中心に、作品という舞台の演出について考える内容とした。	3,591	87	41
合計			26,561	260	102

## 2. 企画展

(延人数、金額：千円)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
			歳入／歳出(市)		
3月18日 ～5月21日 (4月1日～)	新潟市政令指定都市移行10周年記念 BSN新潟放送創立65周年記念 原安三郎コレクション 広重ビビッド	日本化薬株式会社会長をつとめた原安三郎氏(1884～1982)が蒐集した浮世絵230点を、前・後期総入れ替で展示した。広重の〈名所江戸百景〉120枚揃、〈六十余州名所図会〉70枚揃を中心に、北斎や国芳の優品・珍品を加えて展示、極めて良好な保存状態の作品が好評を博した。 ＜市美術館とBSN新潟放送による実行委員会が主催＞	23,289 (18,968)	57 (45)	408 (422)
			9,175／7,000		
6月3日 ～7月23日	世田谷美術館所蔵 塩田コレクション 北大路魯山人 —美・食の巨人—	世田谷美術館の全面的な協力を得て、新潟では初めての開催となった本格的な北大路魯山人展。良寛の書へのリスベクトに絡む相馬御風との交流や、新津の石油王・中野家との関係、新潟市古町の「田舎家」の看板メニュー「わっぱ飯」誕生のエピソードなど、魯山人と新潟との所縁も紹介した。 ＜市美術館とBSN新潟放送による実行委員会が主催＞	10,836	45	240
			3,915／4,000		
8月10日 ～9月24日	石川直樹 この星の光の地図を写す	地球全体をフィールドに写真と文章を通して世界を見つめる写真家、石川直樹(1977～)の大規模な個展。前年に水戸芸術館で開催した同名の展覧会をベースに、新潟ゆかりの作品を加えて構成した。地元の若手作家や、写真集専門書店との連携も試みた。	4,383	41	106
			2,883／7,341		
11月3日 ～12月24日	東京国立近代美術館 工芸館名品展 人為と天然 — ART / NATURE —	「平成29年度東京国立近代美術館工芸館巡回展」事業の一環として実施。同館と高岡市美術館との三館で協力し、作品選定や事務・作業を実施した。高岡と新潟の二会場で共通の作品としたものの、当館では構成を変え、近代工芸史の流れのみならず、工芸美術を為す根幹の概念、「人為」と「天然」をキーワードに全体を三章に分けて展示した。	3,393	45	75
			2,132／5,643		
2018年1月10日 ～3月25日	野口久光 シネマ・グラフィックス	野口久光(1909～1994)による映画ポスターをはじめとした約460点を展示。新潟地震(1964年)の被災者のため、エリントンがチャリティコンサートを開き、新潟市国際親善名誉市民となった経緯を伝える資料も紹介。新潟ジャズストリート実行委員会と新潟・市民映画館シネ・ウインドとも連携した。 ＜市美術館とUX新潟テレビ21による実行委員会が主催＞	3,601	65	55
			1,548／6,000		
合計			45,502 (41,181)	253 (241)	180 (171)
			19,653／29,984		

( )内は4/1～3/31分

## 3. 新潟市美術展(貸館)

(延人数)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
10月11日～15日 18日～22日	第49回新潟市美術展	新潟市に在住・通学・通勤している市民の作品による展覧会	5,342	10	534

## II 教育普及事業

### 1. コレクション展関連

(延人数)

展覧会名	事業名	内容	参加者数
コレクション展Ⅰ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(5/27、7/22) 各日14:00～ 2回	31
コレクション展Ⅱ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(8/26、9/23、11/25) 各日14:00～ 3回	30
コレクション展Ⅲ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など(12/23、1/27、2/24、3/24) 各日14:00～ 4回	36
計9回		合計	97

※特記のないものは展示室にて開催

### 2. 企画展関連

(延人数)

企画展名	事業名	内容	参加者数
原安三郎コレクション 広重ビビッド	講演会「旅する広重(六十余州名所図会)」	講師:小池満紀子氏(中外産業株式会社美術担当、国際浮世絵学会理事) 4/16 14:00～15:30	79
	みどころ解説 (学芸員のショートレクチャー)	学芸員による作品解説 3/26、4/8、4/22、5/13 14:00～ 4回	253
北大路魯山人 一美・食の巨人一	講演会「北大路魯山人 ― 人と作品」	講師:清水真砂氏(世田谷美術館学芸員) 6/17 14:00～15:30	120
	みどころ解説 (学芸員のショートレクチャー)	学芸員による作品解説 6/10、6/24、7/1、7/8 14:00～ 4回	177
石川直樹 この星の光の地図を 写す	「石川直樹 アーティストトーク」	出演:石川直樹氏(写真家) 8/11 14:00～15:30	104
	水と土の芸術祭2018プレイベント VJ+DJイベント「惑星の光と声、 新潟の水と土」	出演:石川直樹氏(写真家)・森永泰弘氏(サウンドデザイナー) 8/20 14:00～15:30 共催:水と土の芸術祭2018実行委員会	93
	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説 8/13、8/27、9/10 14:00～14:30 3回 企画展示室	76
	美術講座「3・11以降の写真」	講師:荒井直美 9/16 14:00～15:30 ※当館事業「美術講座」の一環(後掲)	48
	コラボイベント サテライト展示	石川直樹携りおろし最新作及び関連書籍を展示 8/10～9/24 BOOKS f3[ブックスエフサン、新潟市中央区]	(約400)
	コラボイベント 石川直樹アーティストナイト	出演:石川直樹氏(写真家) 8/10 18:30～20:00 BOOKS f3[ブックスエフサン、新潟市中央区]	(21)
東京国立近代美術館 工芸館名品展 人為と天然	ギャラリートーク「コレクションに みる近現代工芸の流れ」	講師:北村仁美氏(東京国立近代美術館工芸館 主任研究員) 12/2 14:00～15:00 企画展示室	33
	「おやこでタッチ&トーク」	作品の関連資料に実際に触れる体験と、展示室での鑑賞を組み合わせ、工芸館定番のプログラム 講師:今井陽子氏(東京国立近代美術館工芸館 主任研究員) 西岡梢氏(東京国立近代美術館工芸館 研究補佐員) 11/23 14:00～15:30 講堂および企画展示室 ※当館「こども講座」の一環(後掲)	10
	「漆を体感するワークショップ」	漆芸に関する説明の後、蒔絵・金箔押し体験を実施 講師:新潟仏壇組合のみなさん(友坂弘之氏、林芳弘氏、羽賀良介氏、羽賀富美子氏)、川越万里子氏 11/26 13:30～15:00 実習室	12
	上映会	「人間国宝 松田権六『蒔絵の美』【人間国宝 第1巻】」(日経映像、1985年) 「人間国宝 森口華弘『華麗なる元禄の色模様』【人間国宝 第3巻】」(日経映像、1989年) 「鍍金『齋藤明のわざ』【伝統工芸技術記録映画シリーズ21】」(記録映画社、1995年) 11/5、12/10 14:00～15:30	39
	作品解説会	学芸員による展示作品の解説 11/12、12/17 14:00～14:40 企画展示室	58
	連携事業	近現代の工芸を紹介する展覧会を同時開催する敦井美術館(市内)との連携事業として相互割引(団体割引を適用)を行った。 敦井美術館「柿右衛門と今右衛門展」会期:10月10日(火)～12月16日(土)	当館 109 (敦井美 65)
野口久光 シネマ・グラフィックス	第31回新潟ジャズストリート	出演:①HALF NOTE ②君英夫トリオ+星とよ子 ③星とよ子氏+高坂元己氏 ④長沢好宏 Walk don't run with Noriko 1/20 ①12:00～13:00 ②14:00～15:00 ③15:00～15:30アフタートーク ④16:30～17:30 企画展示室3 主催:新潟ジャズストリート実行委員会	460
	美術講座「映画は変わったか」	講師:藤井素彦 1/20 ①10:30～12:00 ②14:00～15:30 ※当館事業「美術講座」の一環(後掲)	59
	トークショー「エリントンと新潟、 野口久光とジャズ」	講師:星とよ子氏(ジャズシンガー、元・新潟アメリカ文化センター館長秘書) 根本隆一郎氏(NPO法人 古き良き文化を継承する会代表) 2/10 14:00～15:30	35
	大林宣彦作品上映会『思い出は 映画とともに』+アフタートーク	上映作品:大林宣彦監督『思い出は映画とともに』(2014年、48分) 講師:根本隆一郎氏(NPO法人 古き良き文化を継承する会代表) 2/11 14:00～15:30	63
	野口久光トリビュート@シネ・ウインド 『モンパルナスの灯』上映	上映作品:ジャック・ベッケル監督『モンパルナスの灯』(1958年、108分) 2/10～2/16 10:00～ 新潟・市民映画館シネ・ウインド ※初日上映後、場内にて井上経久氏(シネ・ウインド支配人)と藤井素彦のトークショー「ベッケル・ ノワール、間の映画作家」(約20分)を開催。	(98)
	ショートレクチャー 「映画とジャズと野口久光」	①2/4「手描きのデザイン」講師:藤井素彦 ②3/11「エリントンと新潟」講師:松本美樹 14:00～14:30	26
	大林宣彦作品上映会(追加開催) 『思い出は映画とともに』	3/20～3/25 11:00～ 企画展示室 6回	165
計28回[当館での実施分]		合計	2,019

※特記のないものは講堂にて開催

### 3. 学校向け教育普及事業

#### ①ARTRIP(アートリップ/来館前の出張授業と来館鑑賞授業を組み合わせたプログラム)

(単位:人)

実施日	実施校	内 容	参加者数		
			児童・生徒	引率 (含教職員)	合計
6月30日 7月4・12日	東新潟中学校(1年)	アートカードを用いたグループワークにより動機づけを行いコレクション展Ⅰを自由鑑賞	165	10	175
9月4日 9月8日	県立新津南高等学校(部活動)	夏休みの課題でテーマを設定し各生徒が写真を撮影、講評を兼ね石川直樹を紹介。豊栄高校もSkype授業によって参加、交流した。来館は一部解説を受けながら鑑賞。作家に感想文を送付	13	1	14
9月6日 9月8日	小須戸小学校(5,6年)	図版によるグループワークを行い、来館時は対話型鑑賞を行った後、コレクション展Ⅱからお気に入り作品を選んだ。	82	4	86
9月11日 9月14日	笹口小学校(4年)	アートカードによるクイズづくりを通して作品に親しみ、来館時は対話型鑑賞を行ったのちコレクション展Ⅱを鑑賞	51	3	54
9月5日 9月15日	潟東小学校(3年)	スクリーンで対話型鑑賞後、来館時は作品の中に入りたいかどうかという観点でコレクション展Ⅱを対話型で鑑賞	43	3	46
9月19日 9月20日	亀田西小学校(5年)	言語化することを重点に置きアートカードを用いてグループワークを行ったうえでコレクション展Ⅱを鑑賞	94	5	99
11月10日 11月14日	山の下小学校(2年)	「びっくりした作品」をキーワードにコレクション展Ⅱおよび企画展「工芸館展」の作品を紹介し、鑑賞	42	2	44
2月1日 2月7日	赤塚中学校(2年)	アートカードを用いてグループワークで作品に親しんだうえで対話型鑑賞を通してコレクション展Ⅲを鑑賞	54	2	56
計8校(出張授業9回、来館鑑賞授業8回)		合計	544	30	574

#### ②教職員視察ウィーク

(延人数)

期 間	事 業 名	内 容	参加者数
4月9日 ～4月16日	「原安三郎コレクション 広重ビッド」 コレクション展Ⅰ「明日の新潟」	新潟市内の幼稚園・保育園や学校の教職員から、企画展・常設展を視察してもらい、授業での美術館活用・利用に役立ててもらったり、児童・生徒へ美術館や展覧会を紹介してもらったりするための視察・広報期間	23
6月4日 ～6月11日	「世田谷美術館所蔵 塩田コレク ション 北大路魯山人」 コレクション展Ⅰ「明日の新潟」		18
8月13日 ～8月20日	「石川直樹 この星の光の地図を 写す」 コレクション展Ⅱ「異界への旅」		18
11月5日 ～11月12日	「東京国立近代美術館工芸館 名品展 人為と天然」 コレクション展Ⅱ「異界への旅」		9
1月14日 ～1月21日	「野口久光 シネマ・グラフィックス」 コレクション展Ⅲ「美術のドラマ ツルギー」		5
計5回		合計	73

#### 4. 美術講座

(単位:人)

実施日	講座名	講師	参加者数
8月19日(土)	前川國男と亀倉雄策—戦前編—	星野 立子	73
9月16日(土)	3・11以降の写真 ※「石川直樹展」と関連	荒井 直美	48
11月18日(土)	異界の美術史 ※コレクション展Ⅱ「異界への旅」と関連	松本 美樹	41
12月16日(土)	阿部展也 線描の魅力	上池 仁子	43
1月20日(土)	映画は変わったか ※「野口久光 シネマ・グラフィックス」と関連	藤井 素彦	59
2月17日(土)	ナビ派とボナールの時代	松沢 寿重	37
3月 3日(土)	芸術祭、美術館、そして明日の美術	塩田 純一	48
3月17日(土)	絵画の解剖術—構図と遠近法 ※コレクション展Ⅲ「美術のドラマツルギー」と関連	児矢野あゆみ	80
計8回		合計	429

#### 5. 実技講座

(単位:人)

実施日	講座名	内容	参加者数
7月9日(日) 13:00~16:00	文字を味わう 魯山人の眼、魯山人の手	講師:華雪(かせつ)氏(書家) 北大路魯山人展に関連し、魯山人が敬愛した良寛の書を展示することにちなんで企画。 講師の視点で、2人の書の共通点や個性を読み解きながら展覧会を鑑賞したうえで両者の作品に含まれる文字「天上」の臨書に挑戦した。	14
11月19日(日) 12月 3日(日) 13:30~16:30	多色刷木版画教室 —新年への想いを摺る—	講師 たかだみつみ氏(木版画家) 2018年の年賀状をテーマとし、2日間の連続講座で、講師のデザイン案をアレンジして彫版から摺りまでを体験	11
計2回(3日)		合計	25

#### 6. 子ども講座

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数
8月17日(木) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00	夏休み子ども講座 「たんけん!美術館」	小中学生と保護者向けに、「コレクション展Ⅱ 異界への旅」展示作品の対話型鑑賞とバックヤードツアーを組み合わせたプログラムを実施した。	子ども 21 保護者 16
11月23日 (木・祝) 14:00~15:30	冬の子ども講座 「おやこでタッチ&トーク」	講師に今井陽子氏(東京国立近代美術館工芸館 主任研究員)、西岡梢氏(東京国立近代美術館工芸館 研究補佐員)を迎え、「東京国立近代美術館工芸館名品展」に合わせ、同館の定番鑑賞プログラム「タッチ&トーク」を、小中学生と保護者向けに開催	子ども 5 保護者 5
計3回(2日)		合計	子ども 26 保護者 21

#### 7. 気ままプログラム(ラウンジNでの自由参加・無料のワークショップ)

期間	事業名	内容
4月7日(金) ~5月28日(日)	西大畑名所n景	画用紙とマスキングテープ(色付き)を使って「西大畑界隈マップ(白図)」を作成し、その上に、参加者から「お気に入りスポット」などの情報を書き込んだ付箋をどんどん貼ってもらい、「名所地図」を作った。
6月3日(土) ~7月23日(日)	みんなで塗り塗り チョキチョコキ! 西大畑陶房	「北大路魯山人 美・食の巨人展」会期中、1964年に魯山人が銀座に開店した自作の直売店「火土火土美房」にヒントを得たプログラム。出品作品から塗り絵を作成、来館者の参加にできあがった作品を棚に見立てた壁面に随時掲出。棚の絵の準備を美術館協会の研修講座部の協力を得て行った。
8月8日(火) ~10月22日(日)	ぼうけんマップ	「石川直樹 この星の光の地図を写す」展にちなみ、世界地図を掲出。フセンで行ったことのある場所、行ってみたい場所、理由、やってみたいことなどを自由に書く。マップには石川直樹の行った主要な山、地名、道程などを記載。石川直樹の訪れたスポットの準備は美術館協会の研修講座部の協力を得て行った。
11月3日(金・祝) ~12月24日(日)	みんなでつくる★クリスマス	毎年恒例のシリーズとして、クリスマスシーズンに向けて、何も飾られていないツリーを手作りのオーナメントで飾り付ける。素材は講座事業の使い残しの画用紙や、包装紙、廃材などを使用。
1月20日(土) ~3月25日(日)	キママグラフィックス	「野口久光 シネマ・グラフィックス」展に関連し、野口久光の手がけたポスター中の人物になりきる体験コーナーを設置。展覧会出品作品から「大人はわかってくれない」「禁じられた遊び」など6点のポスターを拡大出力して掲出。フォトロケーションとしてSNS等での周知を図った。

#### 8. 博物館実習受入れ

(単位:人)

期間	内容	実習生数
8月21日(月) ~31日(木)	学芸員資格取得に係る実習生の受入れ(10日間/6大学)	8

### Ⅲ 調査研究事業

項目	内容
『新潟市美術館 年報』の発行	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用する。(年1回、350部発行。他の美術館や関係機関ほかに配布)
『研究紀要』の発行	平成30年度に発行予定(美術館の調査研究活動の成果を論文や研究ノートとして収載。新津美術館と共同作成、他の美術館や関係機関ほかに配布)

### Ⅳ 収集保存事業

#### 1. 美術資料の収集

##### ①購入

区分	作家名(点数)
絵画4点	阿部展也(4)
写真・映像46点	石川直樹(写真45)、吉原悠博(映像1)
計50点	

##### ②寄贈

区分	作家名(点数)
絵画3点	横山操(3)
写真3点	石川直樹(3)
立体1点	戸張公晴(1)
計7点	

##### ③管理換

区分	作家名(点数)
資料16点	折元立身(16)
計16点	

#### 2. 収蔵・展示環境保全／作品管理

項目	内容
収蔵・展示環境保全	収蔵庫、展示室の温湿度管理、収蔵庫の定期清掃(1回) 浮遊菌調査(4回)及び捕虫トラップ調査(2回)を実施(※公益財団法人文化財虫菌害研究所へ委託)
作品修復	前年度に修復したルイズ・ニーヴェルスン《鏡影-L》について、作成したドッコを用いた展示が可能か、展示室で実際に実験を行った。結果、ドッコだけでは過重が支えきれず、作品上部をワイヤーで吊ったり、下部を台で補助しても不十分であることが判明した。展示方法については、今後更なる検討と対応を行う。
作品管理	作品情報のデータベース化を進め、カードとデータとの2元管理により事務の効率化を図った。

V 施設普及事業ほか

実施日	事業名	内容	参加者数
4月9日(日) 10:00~15:00	春まつり	西大畑公園の桜の開花時期に合わせ、花見に訪れた市民向けに各種イベントを用意し、美術館を楽しんでもらうことを目的とした事業で、平成28年度に続き2回目の開催となった。カフェ、ショップ、新潟市美術館協力会と協力してイベントを実施したほか、西大畑の文化施設とも協力してスタンプラリーも実施した。雨が降るあいにくの天候だったが、「西大畑あるき」には定員を大きく超える参加者があった。	776
他施設との連携	○新潟アートリンク(新潟県立近代美術館、県立万代島美術館、新津美術館との4館による連携) ・共通チラシの作成、スタンプラリーの実施、共通Webサイトの運用、トークセッションの実施 ・万代島美術館「うつくしいくらし」展におけるギャラリートークに協力出演		
	○新津美術館との連携 ・図録や絵はがきの相互販売 ・ホームページの相互リンク ・こどもスタンプカードの共通運用		
	○西大畑・旭町界隈の文化施設(砂丘館、旧齋藤家別邸など)との連携 ・スタンプラリーの実施、町歩きマップ(「西大畑・旭町かいわい」)の配布、情報交換		
	○「水と土の芸術祭2018」事前事業への協力 ・石川直樹展でイベントを開催したほか、プレス発表会の会場として協力		
	○アーツカウンシル新潟・日仏文化対話事業との連携 日仏文化対話事業の一環として、館長が円卓会議に参加する一方、平成28年度の企画展「アナタにツナガル」展のダイジェスト展示をナント市において行った。		
	○オフィス・アート・ストリートとの連携 新潟市中央区の実施するまちあるき「えんでこツアー」の特別編として、市内で開催中のオフィス・アート・ストリートの作品解説ツアーに協力		
	○その他展覧会関係機関との連携 ・魯山人展 レストランパス、田舎家「わっぱめし」割引連携 ・石川直樹展 books f3でのサテライト展示、トークショー、半券サービスの実施 ・工芸館展 敦井美術館との相互割引 ・野口久光展 新潟ジャズ・ストリートの会場参加、新潟市民映画館シネ・ウインドでの関連映画上映及びトークショー出演		
新潟市美術館協力会との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局会議の開催 12回</li> <li>・解説会(「ふれあい美術館ガイド」)の開催 11回</li> <li>・勉強会(解説部員)の開催 12回</li> <li>・広報の支援(展覧会ポスター・チラシの区分けなど) 5回</li> <li>・資料整理の支援(新聞記事スクラップ、図書の整理など) 37回</li> <li>・LoungeNきままプログラムの実施準備 4回</li> <li>・研修旅行(県外日帰り)の実施 1回</li> <li>・総会・記念講演会(富井大裕氏)の実施 1回</li> </ul>		

## 「新潟市美術館の今後の運営方針」に対する平成29年度の実施概要

## [構想の理念] 政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

1 「あるもの（館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）」を活かし、新たな知を掘り起す 「発見する美術館」
2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が 「学べる美術館」
3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る 「生きている美術館」
4 市民同士、地域の文化施設相互が 「つながる美術館」
5 高い質を保ち、市民が誇れる 「信頼の美術館」

## [各論と具体策]

各論	具体策	理念との対応	平成29年度実施内容	事業報告(頁)
コレクションの充実と有効活用	(1) コレクションの充実 ① 新潟の昨日・今日・明日 ② 19～20世紀の美術 ③ 21世紀の美術(国内中心)	【1】【5】	(ア) 美術資料の購入・寄贈作品の受入れ 〈購入〉 50点 絵画 阿部展也 4点 写真 石川直樹 45点 映像 吉原悠博 1点 〈寄贈〉 7点 絵画 横山操 1点、 写真 石川直樹 3点 立体 戸張公晴 1点 〈管理換〉 16点 資料 折元立身 16点	5
	(2) コレクション展の充実(多様な視点から光を当てる)		(ア) コレクション展の開催(3回) コレクション展Ⅰ「明日の新潟」 コレクション展Ⅱ「異界への旅」 コレクション展Ⅲ『美術のドラマツルギー「名場面」のつくりかた』	1
	(3) 所蔵品に関する調査研究の深化と成果の公開		(ア) 『新潟市美術館 年報』の発行 (イ) コレクション展の開催(再掲)	5 1
	(4) 市内の他施設との連携(共同研究、資料貸借、共同展の開催など)	【4】	(ア) 県立近代美術館、県立万代島美術館との連携 共通チラシの作成、スタンプラリーの実施 (イ) 新津美術館との連携 展覧会日程表やチラシに相互に情報掲載 図録や絵はがきの相互販売 広報(ホームページで相互リンク) こどもスタンプカードの共通運用 (中学生以下、4個で景品プレゼント) (ウ) 西大畑・旭町界隈の文化施設(砂丘館、旧齋藤家別邸等)との連携 スタンプラリーの実施、町歩きマップの配布など	6 6 6
企画展の充実	(ア) 企画展の開催(5回) 「原安三郎コレクション 広重ビビッド」 「塩田コレクション 北大路魯山人」 「石川直樹 この星の光の地図を写す」 「東京国立近代美術館工芸館名品展 人為と天然」 「野口久光 シネマ・グラフィックス」		1	

各論	具体策	理念との対応	平成29年度 実施内容	事業報告(頁)
市民に親しまれる美術館づくり	(1) 学校教育との連携 美術館での鑑賞体験をさらに深めるため、学校での学芸員による出張授業と美術館での鑑賞体験をセットで実施(アートリップ事業)	【2】【4】	(ア) アートリップ事業の実施 8校 574人 (イ) 教職員視察ウィークの実施 延 73人	3 3
	(2) 生涯学習の場 ① コレクション展・企画展における展示作品解説 ② 企画展関連事業(講演会、学芸員による関連講座、ミュージアムコンサートなど) ③ 美術講座(講堂を活用した美術に関する講座) ④ 実技講座(実習室を活用した作品制作の講座) ⑤ 市民ボランティアの解説員の育成	【2】【3】 【4】	(ア) 展示作品解説会の開催 25回 (イ) 企画展関連事業の開催 28回 (ウ) 美術講座の開催 8回 (エ) 実技講座の開催 2回 (オ) 美術館協会の解説部勉強会の開催(毎月第2土曜日) 12回	2 2 4 4 6
	(3) 美術館を支援する市民(例として美術館協会など)との連携	【4】	(ア) 美術館協会との連携[広報作業、資料整理、解説会の開催(毎月第3日曜日)計53回]	6
文化観光・国際交流拠点としての美術館づくり	(1) 発信力のアップ(ホームページの充実、広報物のデザイン性アップなど)	【3】【4】	(ア) ホームページ運用による情報発信 (イ) 館案内、リーフレット、パンフレットの配布 (ウ) SNS(フェイスブック)の活用	— — —
	(2) 外国語への対応(ホームページ、館内表示やスタッフ対応など)		(ア) 新潟市美術館 英語対応ホームページの運用 (イ) 英語版パンフレット、5か国語対応リーフレットの配布	— —
	(3) 国内外の美術情報の提供		(ア) チラシ配布やポスター掲示によるPR	—
	(4) ミュージアムショップ、カフェの充実		(ア) ミュージアムショップ(「ルルル」)との連携 企画展関連グッズの販売 (イ) カフェ(「こかげカフェ」)のとの連携 (ウ) ショップ・カフェとの連絡会議の開催(毎月春まつりの開催)	— — — 6
時代に即した弾力的な美術館経営	(1) 企画展事業のマネジメント ① 報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ② 年間を通じて収支を意識し展覧会を企画・運営	【5】	(ア) 報道機関との展覧会の共同開催 「原安三郎コレクション 広重ビビッド」 ・BSN新潟放送と実行委員会を組織 「塩田コレクション 北大路魯山人」 ・BSN新潟放送と実行委員会を組織 「野口久光 シネマ・グラフィックス」 ・UX新潟テレビ21と実行委員会を組織 (イ) 企画展収支(市経費) 歳入19,653千円 / 歳出29,984千円	1
	(2) 新規の来館者を増やし、リピーターを獲得するためのしくみづくり	【4】	(ア) こどもスタンプカードの運用(再掲) (対象:中学生以下 スタンプ押印4個で景品を進呈) 新津美術館と共通運用 (イ) 県立近代美術館・県立万代島美術館との連携(再掲)新潟アートリンク(スタンプラリー) (ウ) リピーター割引料金(団体料金同額)の本格実施	6 6 —
組織と人員配置および施設管理	(1) 展示保存環境の堅持と必要な人員配置及び人材の確保・育成	【5】	(ア) 定期的な室内保存環境の検査 (公財文化財虫菌害研究所に委託) (イ) 各種の研修に参加 (著作権セミナー、保存担当学芸員研修、文化財IPM実践研修など)	5 —
	(2) 施設機能の充実		(ア) 施設管理に係る各種業務を専門業者に委託	—
	(3) 中・長期の継続的な事業活動を支えるため、直営形式による運営管理体制を維持		(ア) 直営形式による館の運営管理体制の維持	—

## 平成29年度 新潟市新津美術館事業報告

## I 展覧会事業

## 1. コレクション展

(延人数)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
6月17日 ～8月27日	旅と美術	旅と美術を題材にした作品を紹介 (笹岡一3点、仲川猛3点、張利、篠崎輝夫、中村琢二、渡辺啓輔、 三浦文治 各1点)	14,192	64	222
9月9日 ～11月5日	所蔵品にみる工芸	県内で生まれ育った、あるいは活躍の拠点を置く工芸作家を中心に紹介 (玉川宣夫、佐々木象堂、三代 本間琢齋、三浦小平二、高井進、板谷 波山、原益夫、石山恵美子、亀倉康之、五代・清水六兵衛、十二代・ 柿右衛門ほか 各1点)	15,335	42	365
11月11日 ～1月13日	新津の画家 佐藤昭平	旧新津市(現秋葉区)東島出身の画家、佐藤昭平の画業の一端を紹介 (佐藤昭平8点)	6,839	49	140
1月27日 ～3月11日	美術館でお花見	立春を迎え暦上は春。桜が描かれた作品等を紹介 (秋山庄太郎9点、東松照明4点、笹岡一2点、星野勇2点、式場 庶謔子1点)	2,853	39	73
合計			39,219	194	202

※企画展・共催展・その他の展覧会の準備期間は全館閉館のため、コレクション展の開催はなし。

## 2. 企画展

(延人数、金額:千円)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
			歳入/歳出(市)		
4月8日 ～6月4日	藤城清治 光のメルヘン展	世界でも類を見ない影絵の手法により、ファンタジーや童話の世界を描き出 してきた藤城の作品を、影絵の劇場をイメージした構成により物語性豊かに 展示し、光と影の総合芸術を紹介 <新津美術館・新潟日报社、UX新潟テレビ21による実行委員会が主催>	47,738	52	918
			16,356/9,000		
6月17日 ～8月27日	生誕80年 松本零士の世界展 銀河鉄道999、宇宙戦艦ヤマト...	SLが走る鉄道の町、新津が舞台となる本展では、「銀河鉄道999」「宇宙戦 艦ヤマト」「宇宙海賊キャプテンハーロック」などの人気作品ほか、初期の漫 画作品や出世作「男おいどん」等の直筆の漫画原稿、アニメーションのセル 画、デザイン画、模型等を紹介 <新津美術館・新潟日报社、NSTによる実行委員会が主催>	14,347	64	224
			4,820/4,500		
9月9日 ～10月15日	興福寺中金堂再建・法相柱柱絵完成記念 興福寺の寺宝と畠中光享展	本展では興福寺中金堂の再建および法相柱柱絵の完成を記念し、すべての 祖師画像を奉納し先立ち特別公開。併せて、興福寺の国宝、重文を含む 寺宝を紹介するとともに、仏陀の精神をたどる畠中光享作品を紹介 <法相宗大本山興福寺、日本経済新聞社、BSジャパン、並びに新津美術 館・新潟日报社、NSTの3者による実行委員会が主催>	12,948	33	392
			3,759/6,500		
11月11日 ～12月24日	政令指定都市移行10周年記念 新潟市の隠れた名品展	「隠れた名品展」シリーズは、学校や公共施設等が所蔵する作品を調査し、普 段は目にする事のない「名品」を展覧会で紹介してきた。新潟市が政令指定都 市に移行して10周年にあたることを記念して開催した本展は、これまでに紹介し た作品のほか、新潟市内全域から選りすぐった名品35点を紹介	2,450	39	63
			1,005/3,312		
1月27日 ～3月11日	パリに生きる新潟の作家たち	フランスに拠点を置き、パリを中心に世界で活躍する新潟にゆかりの作家7 名による展覧会を開催。彫刻、絵画、写真、デザインなど、それぞれに異なる ジャンルで作品を展示	2,943	39	75
			787/5,669		
合計			80,426	227	354
			26,727/28,981		

※四捨五入あり

## 3. その他の主催展覧会

(延人数)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
9月12日 ～10月1日	移動美術館 「新潟時間旅行」	新津美術館の所蔵品を他地域の展示施設を会場に紹介 (星野勇5点、早津剛3点、坂口綱男3点、関屋俊彦2点、笹岡一2点、 森川ユキエ2点、篠崎輝夫2点、西村満、番場三雄、穂苅春雄、櫛谷 一代、中島萬木 各1点 計24点) 会場:新潟市江南区郷土資料館展示室(新潟市江南区文化会館内)	655	17	39
合計			655	17	39

## 4. 共催の展覧会

(延人数)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
1月4日 ～1月13日	第14回新潟教育アート展	下越美術教育研究会との共催による県内の保育園児、小中学生、高校生の 作品展	4,420	10	442
合計			4,420	10	442

◎ 新津美術館主催等による展覧会(上記1～4)の観覧者合計

124,720

## 5. その他の展覧会

(延人数)

期間	事業名	内容	観覧者	開催日数	1日平均
10月28日 ～11月5日	第11回秋葉区美術展覧会	秋葉区に在住・勤務する市民の作品による展覧会	2,593	9	288
合計			2,593	9	288

## II 教育普及事業

### 1. 企画展関連

(延人数)

企画展名	事業名	内容	参加者数	
藤城清治 光のメルヘン 展	藤城清治サイン会	藤城清治氏によるサイン会 4月8日(土) 会場:レクチャールーム	100	
		同上 5月4日(木・祝) 会場:レクチャールーム	100	
		同上 6月3日(土) 会場:レクチャールーム	200	
生誕80年 松本零士の 世界展 銀河鉄道999. 宇宙戦艦ヤマト…	松本零士トークショー&サイン会	松本零士氏によるトークショー&サイン会 6月17日(土) 会場:市民ギャラリー、レクチャールーム	368	
興福寺中金堂 再建・法相柱 柱絵完成記念 興福寺の寺宝 と畠中光享展	畠中光享氏による ギャラリートーク	畠中光享氏(日本画家)によるギャラリートーク 9月9日(土)、10月14日(土) 会場:展示室	72	
	講演会「日本画ってなに? ～興福寺法相柱柱絵を描いて～」 &サイン会	講師:畠中光享氏(日本画家) 9月10日(日) 会場:市民ギャラリー	62	
	講演会 「興福寺のあゆみと教え」	講師:多川俊映師(興福寺貫首) 9月24日(日) 会場:市民ギャラリー	139	
	美術講座 「興福寺の寺宝と畠中光享展」	講師:横山秀樹(新津美術館館長) 10月1日(日) 会場:レクチャールーム	56	
	興福寺僧侶のみなさまによる講話	講話:興福寺僧侶のみなさま 9月16日(土)、17日(日)、18日(月・祝)、10月13日(金)、14日(土)、15日(日)	774	
	ワークショップ「散華を描く」	講師:畠中光享氏(日本画家) 10月15日(日) 会場:市民ギャラリー	22	
	美術講座	「新潟に残る名品たち」 講師:横山秀樹(新津美術館館長) 11月12日(日) 会場:レクチャールーム	22	
政令指定都市 移行10周年 記念 新潟市の隠 れた名品展	ギャラリートーク	当館館長(横山秀樹)によるギャラリートーク 11月18日(土) 会場:展示室	3	
	ギャラリートーク	担当学芸員(奥村真名美)によるギャラリートーク 11月23日(木・祝) 会場:展示室	15	
	美術講座	「三浦文治による素描《昭和天皇巡幸記》を読み解く」 講師:長島彩音(学芸員) 11月26日(日) 会場:レクチャールーム	8	
	美術講座	「新潟の美術のあけぼの」 講師:大森慎子(学芸員) 12月3日(日) 会場:レクチャールーム	7	
	鑑賞ワークショップ 「謎解き! ? 絵画教室 —絵の見方とつくり方—」	一部 講師:永吉秀司氏(新潟大学教育学部准教授) 二部 ファンリテーター:新潟大学教育学部美術科学生 監修:田中咲子氏(新潟大学教育学部准教授) 12月9日(土) 会場:展示室	27	
	美術講座	「新潟の工芸～竹工芸の現在を探る」 講師:奥村真名美(学芸員) 12月10日(日) 会場:新津美術館レクチャールーム	8	
	美術講座	「新潟出身の漫画家 高野文子」 講師:大野智世(学芸員) 12月17日(日) 会場:市民ギャラリー	10	
	クリスマスミュージアムコンサート	演奏:阿部智子氏、佐々木友子氏(ともにヴァイオリン) 朗読:新津美術館ボランティア 12月23日(土・祝) / 2回実施 会場:展示室	180	
	ギャラリートーク	担当学芸員(奥村真名美)によるギャラリートーク 12月24日(日) 会場:展示室	20	
	バりに生きる 新潟の作家 たち	ギャラリートーク	担当学芸員(長島彩音)によるギャラリートーク 2月11日(日) 会場:展示室	16
ギャラリートーク		担当学芸員(長島彩音、大野智世)によるギャラリートーク 3月4日(日) 会場:展示室	52	
計29回			合計	2,261

## 2. 学校向け教育普及事業

### ①出前美術館

(単位:人)

実施日	実施校	内容	参加者数	
7月18日	越前小学校(4~6年)	絵本を読んでイラストに挑戦 「オリジナルのライオンを描いてみよう！」 講師:エイキミナコ氏(絵本作家)	27	
10月3日	市之瀬幼稚園(年長児)		22	
11月30日	笹口小学校(4年)		51	
6月1日	湯東小学校(5年)	誰にでも描ける!「簡単マンガキャラクターデッサン」 講師:近藤康宏氏(新潟市マンガ・アニメ情報館職員)	48	
10月27日	関屋中学校 特別支援学級 (全学年)		6	
11月2日	巻南小学校(5年)		63	
11月21日	東新潟特別支援学校 (高等部2年)		6	
11月28日	湯東小学校(6年)		39	
7月10日	中之口西小学校(4・5年)	日本画との出会い「あなたの笑顔がすき!」 講師:榎谷一代氏(日本画家)	28	
7月20日	巻南小学校(6年)	初めての版画技法に挑戦「版画のいろいろ」 講師:皆川徳志氏(版画家)	59	
10月16日	西特別支援学校(中等部3年)		20	
11月13日	小瀬小学校(5・6年)		28	
6月20日	岩室中学校(2年)	自由な発想で楽しむ「旅するイラストレーターのイラスト教室」 講師:木原四郎氏(イラストレーター)	30	
7月5日	下山中学校(美術部)		20	
9月22日	中野小屋中学校(3年)		14	
10月6日	新津第五中学校(1・2年)		25	
計14校			合計	486

### ②職場体験生の受け入れ

(単位:人)

実施日	実施校 / 学年	内容	参加者数	
5月18日 ~5月19日	新津第一中学校(2年生)	生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動の受け入れ	5	
9月28日 ~9月29日	金津中学校(2年生)		3	
10月26日 ~10月27日	新津第一中学校(2年生)		5	
計2校(3回)			合計	13

### ③教職員視察研修観覧

(単位:人)

内容	参加者数
新潟市内の学校等教員に企画展を鑑賞してもらうことで、授業での美術館活用の参考にしてもらう(通年実施)	18
合計	18

### ④博物館実習生の受け入れ

(単位:人)

実施日	内容	実習生数
8月21日 ~9月1日	学芸員資格取得に係る実習生の受け入れ(10日間/2大学)	2

## 3. 子ども向け事業

(単位:人)

実施日	事業名	内容	参加者数	
12月9日	鑑賞Wワークショップ 「謎解き!? 絵画教室 一絵の見方とつくり方」 [再掲]	一部 講師:永吉秀司氏(新潟大学教育学部准教授) 二部 ファンリテーター:新潟大学教育学部美術科学生 監修:田中咲子氏(新潟大学教育学部准教授) 会場:展示室	27	
計1回			合計	27

## III 調査研究事業

項目	内容
『新潟市新津美術館 年報』の発行	美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の調査・研究の基礎資料として活用するため、平成26年7月に平成20年度から25年度の6年間の諸活動をまとめた「6年報」を発行。 平成27年度からは毎年発行。

## IV 収蔵保存事業

### 1. 美術資料の収集

#### ①購入

区分	作家名(点数)
工芸 1点	伊藤赤水(1)
合計 1点	

#### ②寄贈

区分	作家名(点数)
素描 3点	横山操(2)、藤田嗣治(1)
日本画 9点	菊川三織子(3)、菊川多賀(2)、中島萬木(2)、横山操(1)、田中百合子(1)
絵画 28点	齋藤應志(5)、猪爪彦一(3)、池山阿有(3)、大橋廣治(2)、秋元松子(2)、相馬其一(2)、中野雅友(1)、堀研一(1)、山田一郎(1)、難波田龍起(1)、高橋信一(1)、小糸源太郎(1)、小野末(1)、富岡惣一郎(1)、千原三郎(1)、近藤直行(1)、岩田正巳(1式)
版画 6点	富岡惣一郎(3)、高橋信一(1)、池田満寿夫(1)、星襄一(1)
合計 46点	

### 2. 収蔵・展示環境保全、作品管理

項目	内容
収蔵・展示環境保全	収蔵庫、展示室の温湿度管理 浮遊菌数調査、虫害調査を実施(公益財団法人文化財虫菌害研究所へ委託) 美術品の燻蒸(包み込み燻蒸処理/サニータンナーに委託)
作品修復	染抜き、パネル張り(1点)、裏打ち(3点)、破損部修復(1点)、パネル張り(1点)
作品管理	所蔵作品情報のカード化とデジタルデータ化を実施

## V 施設普及事業ほか

### 1. ミュージウムコンサート

実施日	事業名	内容	参加者数
10月29日	区展ミニコンサート	秋葉地区在住及び通学、通勤の方々の美術の祭典である秋葉区美術展覧会において、来館者に素晴らしい生の音楽を聴いていただくとともに、秋葉区及び新潟市で活躍されている音楽家の方々の発表の場とする。 出演:新津市民合唱団 会場:新津美術館アトリウム	25
12月23日	クリスマスミュージウムコンサート(午前の部、午後の部 2回実施)【再掲】	演奏:阿部智子、佐々木友子(ともにヴァイオリン) 朗読:新津美術館ボランティア 会場:展示室(「新潟市の隠れた名品展」開催中)	180
計3回			合計 205

(単位:人)

### 2. 新津美術館ボランティアによる活動

実施日	内容	参加ボランティア数
7月1日	読み聞かせ研修	6
12月23日	ボランティアによる朗読(新潟市の隠れた名品展 クリスマスミュージウムコンサート)	7
4月8日 ~12月23日	イベントサポート(講演会、コンサートほか) 8回	35
5月13日 ~3月10日	広報補助(ポスター・チラシの封詰め、郵送作業補助) 15回	75
合計		123

(延人数)

※平成28年度登録ボランティア数:37人

### 3. 利用者にやさしいサービス

(単位:人)

項目	内容	利用者数
「託児サービス」	会期中の第2・4の木曜・土曜日 10:00～12:00 対象:6ヶ月～未就学児 事前予約制 無料 <実績> 利用日数 7日	13
「こどもタイム」	館内にBGMを流し、親子で語り合いながら鑑賞できる時間帯を設定 会期中の第1・3の木曜・日曜日 10:00～13:00 <実績> 38日	11,544
「あいてマンデ～」	各展覧会会期中に1～2回、月曜日(休館日)を開館 <実績> 8日	2,609

### 4. その他

項目	内容
他施設との連携	○区内3施設連携による観覧料の割引 ・新津美術館、新津鉄道資料館、新潟県立植物園のチケット提示でそれぞれ団体割引
	○花ふるフェスタ協賛イベントの実施 ・新津観光協会等が中心となり県立植物園を会場に開催されるイベントで当日、観覧料を100円引き
	○フラワースタンブラリー ・新津美術館、新津フラワーランド、花夢里にいつ、他参加施設を巡るスタンブラリー
	○新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」 ・児童の作品を新津美術館に通年展示(年3回入替)
	○市内の他文化施設との連携 ・江南区郷土資料館で新津美術館《移動美術館》を開催
	○新潟市美術館との連携 ・両館の図録や絵はがきを双方で販売 ・ホームページの相互リンク ・こどもスタンプカードの運用
	○NIGATAアートリンク ・県立近代美術館・県立万代美術館、新潟市美術館・新津美術館の4館による連携 ・4館を巡るスタンブラリー
広報の拡充	○美術専門誌や地元新聞、テレビ、ラジオ、市HP、市報、区役所だよりを利用した広報
	○秋葉区の商店街や理容・美容組合、医院、観光協会の他、江南区、南区、五泉市、新発田市(月岡地区)の事業所でもポスター配布等、広報活動を実施

## 「新潟市新津美術館の今後の運営方針」に対する平成29年度の実施概要

## 【構想の理念】市民と連携しながら、愛され親しまれる美術館

1. 美術館の持つ資源を活用して、市民に美術に対する新たな発見と感動の場を提供し、豊かな創造力を育む「何かが見つかる美術館」
2. 美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を实践する「明日へ向かう美術館」
3. 他施設との連携や来館者とのコミュニケーションを図り、市民の視点に立った取り組みを实践する「みんなと歩む美術館」

## 【各論と具体策】

各論	具体策	理念との対応	平成29年度 実施内容	事業報告(頁)
展覧会の充実	(1) 独自性のある展覧会の開催 ① 学芸員の研究成果を取り入れながらもその専門性に偏らない、質が高く市民に分かりやすい幅広い展覧会の開催(サブカルチャー、絵本、写真展など) ② 所蔵品を活用した展覧会の開催 ③ 美術館に対して市民の興味を抱かせる魅力ある展覧会の開催	【1】	(ア) 企画展の開催(5回) 「藤城清治 光のメルヘン展」 「生誕80年 松本零士の世界展 銀河鉄道999, 宇宙戦艦ヤマト…」 「興福寺中金堂再建・法相柱柱絵完成記念 興福寺の寺宝と畠中光享展」 「政令指定都市移行10周年記念 新潟市の隠れた名品展」  「パリに生きる新潟の作家たち」	1
			(イ) コレクション展の開催(4回) 「旅と美術」 「所蔵品に見る工芸」 「新津の画家 佐藤昭平」 「美術館でお花見」	1
			(ウ) 「移動美術館」の開催 新津美術館の所蔵品を他地域の展示施設で展示	1
			(エ) 「新潟教育アート展」(下越美術教育研究会共催) 幼稚園、小・中・高校生の作品展覧会	1
			(オ) 「秋葉区美術展覧会」 秋葉区在住(勤務)市民の作品展覧会	2
新潟の文化や作家の育成・紹介	(1) 地域文化の魅力の発信 ① 多彩な展覧会を開催することにより、新たな発見と感動の場を提供	【1】	(ア) 企画展「新潟市の隠れた名品展」の開催(再掲) ※「隠れた名品展」シリーズは、学校や公共施設等が所蔵する作品を調査し、普段は目にする事のない「名品」を展覧会で紹介。	1
	(2) 新しい新潟の文化の発信 ① 調査・研究に基づいた展覧会の開催により、新潟の文化と作家を紹介	【1】	(イ) 美術講座の開催 6回 新潟ゆかりの作家等を「美術講座」として紹介	2
市民に愛され親しまれる美術館づくり	(1) 芸術文化の発信や交流の場づくり ① 企画展関連事業の充実(講演会、学芸員による関連講座など) ② 美術講座の開催(テーマを設定した美術に関する講座) ③ アトリウムの空間を活用したミュージアムコンサートの開催 ④ 芸術家による学校等へ出前授業(アウトリーチ)の実施 ⑤ ミュージアム・ショップ、カフェの充実	【1】【3】	(ア) 企画展関連事業の開催 27回 「ワークショップ」「トークショー」「サイン会」 「作品解説会」「朗読」など	2
			(イ) ミュージアムコンサートの開催 3回	4
			(ウ) 美術講座の開催(再掲) 6回	2
			(エ) 出前美術館の開催 16回	3
(2) 利用しやすい環境の形成 ① 託児サービスの実施 ② 「こどもタイム」(親子で語り合いながら鑑賞できる時間帯)の実施 ③ 「あいてマンド〜」(各展覧会会期中に1回、月曜日を開館)の実施	【3】	会期中の第2・4の木曜・土曜日 <実績> 利用日数 7日 利用人数 13人	5	
		会期中の第1・3の木曜・日曜日 <実績> 38日 <利用者> 11,544人	5	
		会期中に1~3回、月曜日を開館 <実績> 8日 <利用者> 2,609人	5	
美術資料の収集・保存	(1) 美術資料の計画的な収集・整理・保管及び調査・研究 ① コレクションの充実(寄贈・購入・寄託)	【2】	(ア) 美術資料の寄贈等 <購入> 1点 工芸1点 <寄贈> 46点 絵画28点、日本画9点、版画6点、素描3点	4
	(2) 所蔵品台帳の整備、美術資料の積極的な活用・普及 ① 常設展のほか、所蔵品による企画展の開催	【2】	(ア) コレクション展の開催(年4回)(再掲) (イ) 「移動美術館」の開催(再掲)	1

各論	具体策	理念との対応	平成29年度 実施内容	事業報告(頁)
他施設等との連携・交流	(1) 市民、他施設との連携協力 ① 周辺施設、学校、市内の他施設との連携の充実	【3】	(ア) 秋葉区内3公共施設の連携による観覧料の割引 (新津美術館・新津鉄道資料館・新潟県立植物園) (イ) 花ふるフェスタ協賛イベントによる観覧料の割引 (ウ) フラワースタンプラリーの実施 秋葉区や県内の参加施設を巡るスタンプラリー (エ) 新潟市立金津小学校「ふれあいギャラリー」で 通年展示 (オ) 市内の他文化施設との連携 新潟市江南区郷土資料館で「移動美術館」を開催 (再掲) (カ) 新潟市美術館との連携 物販(両館の図録や絵はがきを双方で販売) 広報(ホームページで相互リンク) こどもスタンプカードの運用 (対象:中学生以下、4個で景品プレゼント) (キ) NIIGATA アートリンク 県立近代美術館・県立万代美術館、新潟市美術館・ 新津美術館の4館を巡るスタンプラリー	5
	② ボランティアの活用・充実		(ア) 自主事業(絵本の読み聞かせ研修・朗読) 2回 延べ13人 (イ) サポート活動(イベント等の会場設営、受付など) 8回 延べ35人 (ウ) 広報補助活動(ポスター、ちらし郵送作業) 15回 延75人 ※平成29年度登録者数 37名	4
	(2) 計画的な広報活動の実践による、美術館活動の周知 ① ホームページの充実・活用 ② 様々な媒体を利用した周知	【3】	(ア) ホームページに分かりやすく情報を掲載 (イ) 美術専門誌や新聞、テレビ、ラジオによる広報 (ウ) 近隣の区や他市等できめ細やかな広報を実施	5
健全なマネジメント	(1) 施設の効率的な管理運営 ① 少ない人的資源の中で、安全で機能的・能動的な管理運営	【3】	(ア) 朝礼による日々の管理運営情報の共有 (イ) 定期的な館内ミーティングの開催 (ウ) 受付職員、監視員との朝礼、終礼の開催	—
	(2) 報道機関との共催関係の形成や実行委員会形式の展覧会の開催 ① テレビ局・新聞社との連携	【3】	(ア) 実行委員会形式での開催 3回 「藤城清治展」では新潟日報社・UX新潟テレビ21 と実行委員会を組織 「松本零士の世界展」「興福寺の寺宝と畠中光享展」 では新潟日報社・NSTと実行委員会を組織 (イ) その他の企画展の全てで新聞社と名義共催2回	1
	(3) 年間を通じて、収益率を意識した展覧会の企画・運営 ① 展覧会経費と収入バランスを認識し、職員全員が予算状況を把握	【3】	(ア) 共有ファイルを活用し、展覧会ごとの収支を職員 間で情報共有 (イ) 歳入26,727千円 歳出28,981千円 ※年間入館者数 91,662人	1
組織と人員配置及び施設管理	(1) 美術館活動を充実させるため、必要な人員配置と職員研修の実施による人材の確保と育成 ① 魅力ある美術館を目指すための、職員の相互協力	【2】【3】	(ア) 各種研修への参加(ミュージアムエデュケーター 研修、著作権セミナーほか) (イ) 職場研修の実施(接遇研修、AED講習ほか)	—
	(2) 老朽化した設備などの計画的な改修 ① 長期的な計画による予算措置	【2】	(ア) 展示室スポットライトの省エネ(LED)化 (イ) 空調設備の監視・制御装置の更新	—
	(3) 中・長期の継続的な事業活動を支えるための、直営形式による管理運営体制の維持	【2】	(ア) 直営形式による管理運営体制の維持 (イ) 臨時職員の弾力的な活用	—